

はじまりは1枚のコマ絵



コマ絵「筒井筒」／明治38年；『中学世界』へ掲載

夢二式美人の誕生



夢二の妻・たまき



林檎／大正3年



立田姫／昭和6年

マルチアーティスト 夢二

日本の近代グラフィックデザインの先駆者
 商業デザインを芸術へと高めた
 大正3年 日本橋呉服町に「港屋絵草紙店」を開店



港屋絵草紙店前
 の夢二



『月刊 夢二エハガキ』
 第80集 ローマ字エハガキ
 大正7年



帯「苺」・半襟原画
 浴衣裂

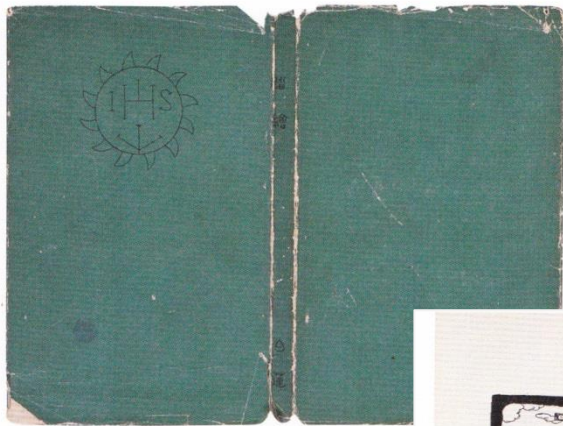


封筒・千代紙

マルチアーティスト 夢二

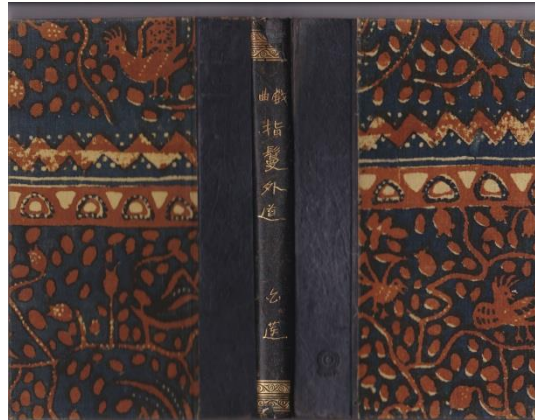
自分の著書をはじめ本や雑誌、楽譜の装幀を多く手がける

伊藤白蓮の著書『踏絵』(大正4年刊)、『指鬘外道』(大正9年刊)



148

『踏絵』



『指鬘外道』の口絵「幻の地獄」原画

日本のロートレック 夢二

西洋の美と東洋の美 … ジャポニズムが与えた影響
ロートレックとの共通点

「夢二のスクラップ帳」

洋の東西を問わず数々の名作がスクラップされている

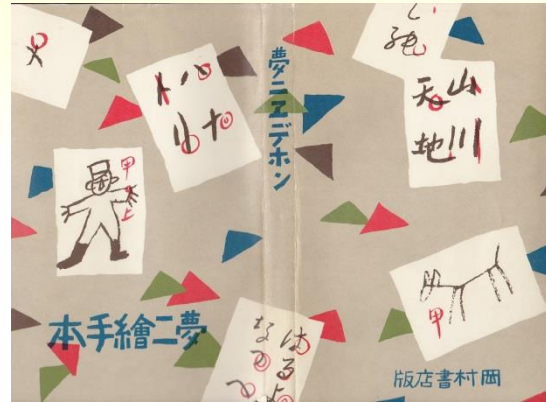


こどもへの思い

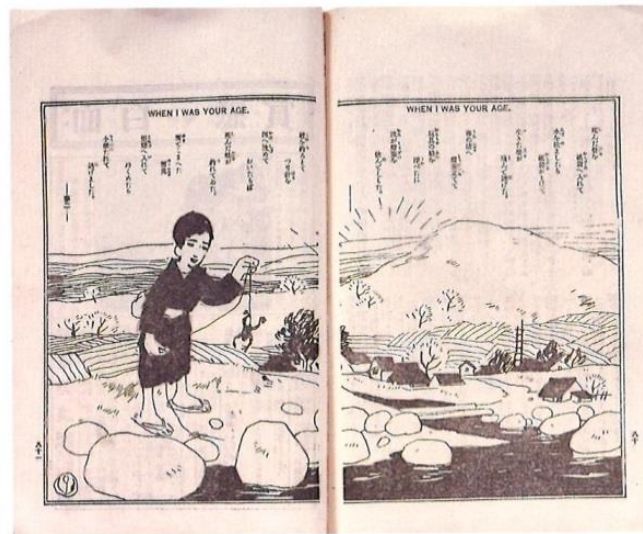
次世代へ残したい、伝えたい思い



第一回夢二作品展覧会ポスター(女)
大正元年



著作本
『夢二画手本』
大正12年



雑誌『日本少年』
大正2年



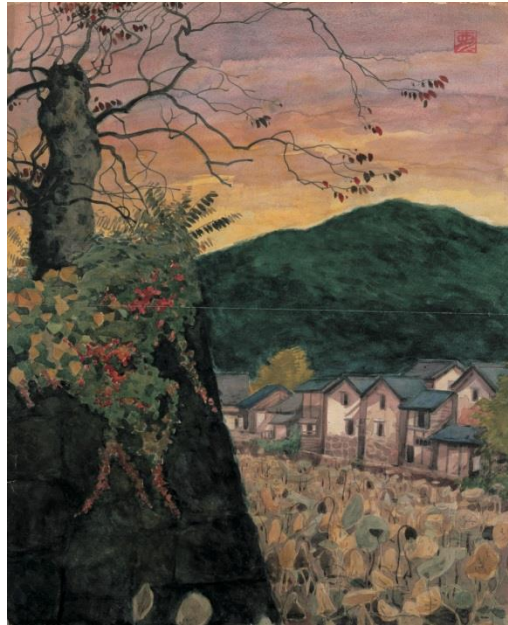
子守唄／大正2年

夢二のふるさとへの思い

生涯を通して懐かしんだ故郷・岡山
夢二の作品の中には、故郷での思い出が多く描かれている



日本男児／大正前期



故郷の秋／明治42年



童子／大正初期

夢二の「ゆめ」

～ 吾々の教師はあくまで自然である ～



榛名山と夢二



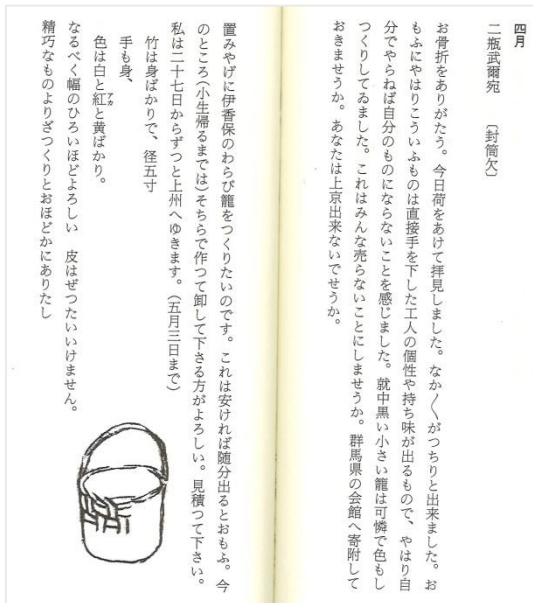
榛名山美術研究所

大正12年「どんたく図案社」を企画

ポスターから舞台装置まであらゆるデザイン開発をめざした、
今でいうデザイン会社のような試み

昭和5年「手による産業」を提唱、「榛名山美術研究所」建設を宣言。

大量生産時代の到来によって手づくりの品が失われる中で、
日常生活に芸術を活かして、生活とともにある素朴な日用品
を作り、伝えていこうという試み

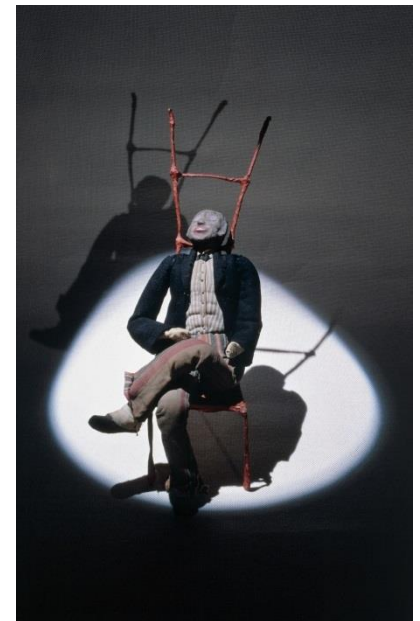


手による産業の試み

二瓶武爾氏宛て書簡

昭和6年4月

『夢二書簡2』より



夢二人形(男)

昭和初期

高島屋での「竹久夢二展」

京都高島屋 8月27日～9月8日…予想の1.5倍のお客様が来場され大盛況☆
岡山高島屋 9月11日(木)～9月23日(火・祝)
日本橋高島屋 9月26日(金)～10月6日(月)
横浜高島屋 10月15日(水)～10月27日(月)

大正浪漫へ。パリへ。江戸へ。夢二でたどる、時代のきらめき。展 二

ベル・エポックを生きた夢二ロートレック

生誕130年

2014 9/11(木)-9/23(火)

岡山高島屋8階催会場

主催＝夢二郷土美術館・朝日新聞社・山陽新聞社

協賛＝岡山県立美術館・岡山県立大学・岡山県立中央図書館・岡山県立中央図書館・岡山県立中央図書館

入場料(税込)＝一般800円/600円、大学・高校生600円/400円、中学生以下無料

※入場時間＝午前10時～午後5時30分(午後6時閉場)

※最終日は9月23日(火・祝)は、午後3時30分まで(午後4時閉場)

Takashimaya OKAYAMA



着物ショー風景



京都高島屋と岡山高島屋での展示風景